

事業番号	07 04 03	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	IT産業振興事業費		部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課
			実施期間	H27～	E-mail	ritti-it@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成					2-5 地域に根差した産業の振興
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保					3-7 先端技術の積極的な活用・導入

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】									
	<ul style="list-style-type: none"> 県内IT産業の事業所数は474カ所で全国15位に位置するが、1従業員あたりの年間売上高は1,507万円（全国20位）で生産性の向上が課題 国内の地域間のみならず国際間でIT人材獲得競争が激化している 									
	【目指す姿】									
	<ul style="list-style-type: none"> Society 5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積させ、県内産業のデジタルトランスフォーメーション推進や革新的なITビジネス創出を促進させる 									
	【実施内容】									
	信州ITバレー推進協議会の運営、首都圏等のIT人材の誘致・定着									
指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]										
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
							前年度繰越	0	0	
1	「おためしナガノ」移住支援件数	13件	13件	→	12件	↓	12件	達成		
2	リゾートテレワーク実施者数	33人	231人	↑	210人	↓	240人	未達成		
3										
4										
事業コスト								予算額	64,624	85,099
								合計(A)	64,624	85,099
							うち一般財源	45,004	35,623	
							決算額(B)	58,360	70,864	
							職員数(人)	3.2	3.0	
成果指標設定理由	1 県内へのIT人材誘致の成果を把握するための指標 ※目標値：前年度目標と同値									
	2 関係人口の創出の効果を測るための指標 ※目標値：モデル地域の実績から算出									
達成状況の分析	1 SNS等を活用したPRIにより、首都圏等における事業認知度が更に高まったため、目標を達成することができた。									
	2 ワークेशन自治体協議会（WAJ）との連携等により全国的にワークेशनへの関心が高まっているものの、緊急事態宣言等により居住地域外への移動が自粛されたため、未達成となった。									
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コンソーシアム形成の促進 <ul style="list-style-type: none"> R2.1に設立した信州ITバレー推進協議会（NIT）の構成員を対象としたプランシニアカフェ（事業計画の提案と磨き上げの場）を3回、WEBセミナーを1回開催 ✓ プロジェクト支援 <ul style="list-style-type: none"> 若い世代のIT人材の育成及び定着に繋げる「学生参画型IT開発プロジェクト支援実証事業」で3件、県内の地域課題をIT活用により解決することを目指すプロジェクトを支援する「IT開発プロジェクト支援事業」で4件採択し支援。 ✓ 情報発信・プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 特定期間にIT関連のイベント集中的に実施することで、集客力・発信力を向上させ、「IT人材の育成・誘致・定着」「ITビジネスの創出・誘発」を促進することをねらいとした情報発信イベント「Nagano Fledge（ナガノ フレッジ）」を開催。参加者は約1,600名。 ✓ リゾートテレワーク拠点(環境)整備事業 <ul style="list-style-type: none"> モデル地域を5地域選定し、当該地域で市町村と連携してリゾートテレワークの環境整備に取り組む民間事業者等に対して、地域の推進体制構築、テレワーク体験・交流イベントの実施等に要する費用を補助 									
		 <p>Nagano Fledge</p>								

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課 題 等	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 信州ITバレー構想の実現に向けた産学官の連携体制の強化。 企業を中心にワークेशन導入・実施が進んでいない。 コロナ禍においてテレワークが積極的に導入された結果、関係人口の創出や新たな観光需要の創出等に向けて、ワークेशनに取り組む地域が全国的に増加しているといわれている。（参考：ワークेशन自治体協議会会員数 令和元年11月18日時点65団体→令和3年7月20日時点195団体） 	<ul style="list-style-type: none"> NITを中心とした産学官連携によるプロジェクトへの支援や国内外への情報発信により、IT人材・産業の集積を促進する。 都市圏企業等に向けた広報を継続しつつ、地域のネットワーク形成や優良事例の横展開を支援することで県全体の魅力向上につなげる。

事業番号 07 04 03 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	IT産業振興事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課
-----	-----------	----	-------	-----	------------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	信州ITバレー構想推進事業	16,749 千円	22,388 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	信州ITバレー推進協議会(NIT)の運営	委託	NITを運営し、産学官の連携体制を整備するとともに、構想に係る情報発信・プロモーションとしてフォーラム等を実施 【事務局へのコーディネータ配置2名、プロジェクト7件支援、情報発信イベント「Nagano Fledge」開催 参加者約1,600名】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	おためしナガノ2.0（ときどき&おためしナガノ）	7,923 千円	8,345 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	おためしナガノの事業運営	委託	県内へのトライアル移住等を希望する首都圏等のIT人材募集のため、SNS等を活用したPR、トライアル時に発生するオフィス利用料等の経費補助を実施 【応募件数99組168名、補助件数12組22名】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	リゾートテレワーク推進事業	33,688 千円	40,130 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	リゾートテレワーク推進事業補助	補助金	モデル地域の推進体制構築、交流イベント等を支援 【5地域追加、8件補助】
2	広報事業	委託	首都圏企業等を対象としたイベントの開催、パンフレット作成・HP更新 【PRイベント「ワーケーションEXPO@信州」開催 500名参加（全国の企業・自治体等）】